

君津地域水稻情報 「あぜみち第4報」

平成26年8月1日 君津農業事務所 改良普及課
 電話 0438-23-0299 FAX 0438-23-6698
 ホームページ <http://www.pref.chiba.lg.jp/ap-kimitsu/>

★各品種の出穂時期は平年より3～4日早くなっています。

★斑点米カメムシ類は多発生と予想。防除の徹底を！

1 君津地域の生育概況

7月に入り、気温は平年並～やや高めで推移しました。全体的に生育の進みは早く、出穂期は早生・中生・晩生の各品種で早くなりました。

4月20日植えの各品種の成熟期は、「ふさおとめ」が8月12日頃から、「ふさこがね」は8月18日頃から、「コシヒカリ」は8月22日頃からと予測されます。

斑点米カメムシ類のうち、大型のカメムシ類の発生量は「やや多」、カスミカメムシ類の発生量は「多」と予想されていますので、防除を徹底してください。

7月24日に気象庁から発表された関東甲信地方1か月予報によると、平均気温が平年より高くなると予想されており、乳白米に対する注意が必要です。

2 県作柄調査ほ等の調査結果

品種	年	田植え日	出穂期
ふさおとめ (袖ヶ浦市)	26	4/15	7/9
	平年	4/16	7/12
	平年比	-1	-3
ふさこがね (君津市)	26	4/17	7/9
	平年	4/19	7/13
	平年比	-2	-4
コシヒカリ (君津市)	26	4/18	7/14
	平年	4/20	7/17
	平年比	-2	-3
コシヒカリ (一発肥料) (富津市)	26	4/18	7/15
	平年	4/21	7/18
	平年比	-3	-3
コシヒカリ (木更津市)	26	4/27	7/19
コシヒカリ (一発肥料) (君津市)	26	5/5	7/26
	昨年	5/2	7/16

※ 「出穂期」とは、ほ場の40～50%の穂が「出穂」したとき、「出穂」とは穂先が茎から少しでも顔を出したときです。

3 これからの管理のポイント

① 高温時の対策

登熟期の水不足は、減収と乳白米等の白未熟粒の多発生による品質低下の原因になります。特に出穂期～出穂後 10 日前後は高温の影響を受けやすいことや、自然由来のカドミウムの吸収を抑えるためにも、水管理に十分注意しましょう。

● 出穂2週間後までは湛水管理

水不足の時は、間断かんがいでもよいので、田面を湿らせるようにしましょう。

● 出穂2週間後～出穂 25 日後までは間断かんがい

米粒の充実と品質向上のために出穂 25 日後までは、水が必要となります。

② 斑点米カメムシ類の防除対策

千葉県県の病害虫発生予察注意報（第2報、7月9日付）では、斑点米カメムシ類（特にアカスジカスミカメ）多発生のおそれがあると発表されています。出穂期に防除を実施した場合でも、その後に侵入した成虫やふ化した幼虫によって被害が発生する可能性があります。主な防除薬剤は次のとおりです。最も防除効果が高い時期は、幼虫発生初期である出穂 15 日後頃です。

イネクロカメムシの予想発生量は「やや多」となっています。気温の高い日中は株元において薬剤がかかりにくいので、朝や夕方風の少ない日を選んで散布しましょう。

表1 カメムシ類の主な防除薬剤

薬剤名	使用時期	10a 当たりの散布量	使用回数
トレボン粉剤 DL	収穫 7 日前まで	3～4kg	3 回以内
MR、ジョーカー粉剤 DL	収穫 7 日前まで	3～4kg	2 回以内

③ 刈り取りはあせらずに

気温が低いと登熟は遅れます。収穫は登熟状況を十分に観察し、帯緑色籾歩合 15%の時にいきましょう。（注：帯緑色籾歩合は主稈と思われる太い茎の穂を選び、不稔籾を除いて数えます。図を参照）各品種の収穫期の目安は、出穂期から、「ふさおとめ」で 33 日前後、「ふさこがね」で 37 日前後、「コシヒカリ」で 38 日前後です。

早刈りでは青未熟粒、刈り遅れでは胴割米等が発生し、品質・食味の低下につながりますので、注意してください。

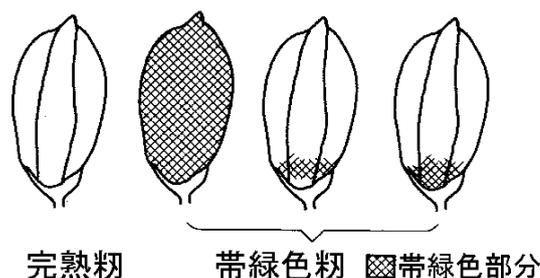


表2 品種別成熟期の予測

品種	植付時期	成熟期予測
ふさおとめ	4月 20 日	8月 12 日
ふさこがね	4月 20 日	8月 18 日
コシヒカリ	4月 20 日	8月 22 日
	5月 1 日	8月 27 日

④ 平成 26 年産「米」の放射性物質検査を実施します

市ごとに実施する検査の結果が判明し、安全性が確認されるまで、お米の出荷・販売・譲渡・贈答はしないでください。